

いやは月が来ると

今までもいそいそとあつたと

不りが云の

環境の變化が大方と妻の元中の

生活だつたふうだ

子供がこまは資産家の9子供

その生活が今も少し身をついて

手ありをふりかえる二とあつた

次が貧乏の十代目

その夜合のものがあつた

大教習でそれごとく大妻をふせいでいたが

貧しい半端なぬきいので此でりた

舞臺への月謝アヒンケトでやうとほりて

川に招来し阿にふるなりた

有とあつた

私の人生活アヒンケト人並といふ

人との出まのにより行方向が變化し

何となくこの界を果た

かまかまのくにたすけうた理居か

その川にふるくましりか

大印はさねてい

甲しふんふい

其肝さうの換査か あり

年月の九月 引取のし物思つてい

結果 ぶくま ぶくま ぶくま

日かぶがぶる ぶくま ぶくま

あとい物 早くすぶて ぼくま

2025
3/3